

口頭発表プログラム 9月26日

A会場（とがちプラザ1F レインボーホール）

時間	座長	優秀若手発表賞発表	
13:00	渡邊修	Y01	深層学習による牧草地のエゾノギシギシ検出のための効率的な学習用データセット作成条件の検討 ○黒木康士朗1・八木隆徳2・宮地 慎2・牧島美夢1・眞田康治2・高原美規1・秋山征夫2（1長岡技科大院物生・2農研北海道）
13:15		Y02	無人航空機を活用したウマ放牧地におけるギシギシの分布把握 ○垣内香澄・川村健介・神谷 詩・大越証路・甕 美里・大野実穂（帯広畜産大学）
13:30		Y03	牛糞の空間分布は制御可能か？一水飲み場の位置が牛の滞在場所と牛糞分布に及ぼす影響— ○加藤幹也1・八代田真人2・川村健介3・安田泰輔4・北川美弥5（1岐阜大自然研・2岐阜大応生・3帯広畜産大環境農学・4富士山科学研究所・5農研畜産）
座長交代			
13:50	山田大吾	Y04	乳牛放牧地の利用年数が糞の分解および糞周囲の牧草再生量に及ぼす影響 ○羽多野里佳1・呉 成真1・三谷朋弘1・河合正人2・上田宏一郎1（1北大院農・2北大FSC）
14:05		Y05	The effect of the combined application of agricultural waste- and manure-based biochar on soil properties, microbial abundance, CO2 emissions, and grass growth ○Laila Dini Harisa1・Dicky Aldian1・Darmawan2・Yayota Masato3,4（1United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University・2Faculty of Agriculture, Andalas University・3Faculty of Applied Biological Sciences, Gifu University・4GeFAH, Gifu University）

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 9月26日

A会場（とがちプラザ1F レインボーホール）				B会場（とがちプラザ1F 視聴覚室）			
時間	座長	企業発表		時間	座長	6. 育種	
14:30	北川美弥		【LRTK】スマホで単点群と高精度位置方位情報付き写真撮影による草地の地図化 レフィクシア株式会社	14:30	足利和紀	601	チモシーの幼苗冠部乾燥処理法による耐乾燥性の評価 ○高畠聡史（道総研北見農業試験場）
14:45			ハンディ近赤外分光器の特長と活用 株式会社アイ・アール・システム	14:45		602	イタリアンライグラス二倍体品種・系統集団におけるアレル頻度によるゲノミック予測精度 ○田村健一・荒川 明2・清 多佳子1・山口貴史1（1農研畜産・2農研九沖）
15:00	休憩			15:00		603	寒地向けオーチャードグラス極晩生新品種「北海34号」の育成とその特性 ○眞田康治1・横山 寛2・佐藤広子1・秋山征夫1（1農研北海道・2雪印種苗）
15:15	座長	2. 造成・管理・栽培		15:15	休憩		
	堤道生	201	土壤凍結地帯における採草多回による高消化性自給飼料の生産 ○中村直樹1・松本武彦2・谷川珠子1・田中常喜1（1道総研酪農試・2秋田県立大）				
15:30		202	熊本県阿蘇地域における野草の栄養評価 ○野崎由美1・古田雅子2・鶴田 勉3・猪野敬一郎1（1熊本農研七草研・2熊本農大校・3熊本玉名振興局）	15:30	座長	3. 放牧・家畜管理・行動	
15:45	休憩			15:45	土井和也	301	島根県知夫村公共牧場の放牧された黒毛和種繁殖雌牛の夏期における代謝エネルギー要求量の推定 ○一戸俊義1・関 耕平2（1島根大学生物資源科学部・2島根大学法文学部）
16:00	石井康之	203	日射制御可能な営農型太陽光発電の牧草栽培への活用：2.可動式パネルによる日射量確保の効果 ○八代田真人1・鈴木伴英2・森 敏彦2・合原地亮3（1岐阜大応生・2中部電力・3ガリレオ）	16:00		302	放牧下の子めん羊におけるタンパク質給与レベルが免疫状態および糞中寄生虫卵数に及ぼす影響 ○清水琉聖・吉田葉奈子・山田未知・菊 佳男・中辻浩喜（酪農大）
16:15		204	周年放牧草地の植生回復に向けたセンチピードグラス（ <i>Eremochloa ophiuroides</i> (Munro) Hack.）小型ソッドの張りシバ法の評価 ○平野 清・堤 道生・柿原秀俊・胡日査（農研西日本）	16:15		休憩	
16:30		205	草地表面へ施用した各種被覆尿素からの窒素溶出（第4報） ○山田大吾1・北川美弥1・金子 真2・平野清3・望月賢太4（1農研畜産・2農研本部・3農研西日本・4農研九沖）	16:30	八代田真人	304	広域無線伝送装置搭載の超低消費電力IoTデバイスを用いた放牧牛行動認識技術の開発 ○田村 崇1・佐藤 遥1・磯部泰徳1・迫田元1・片岡亜子2・竹田謙一3（1ソニーグループ・2信州大院総合理工・3信州大学術研究院農）
16:45	休憩			16:45		305	3軸加速度と深層学習による姿勢変化を含めたウシの7行動認識 ○佐藤 遥1・田村 崇1・磯部泰徳1・迫田元1・片岡亜子2・竹田謙一3（1ソニーグループ・2信州大院総合理工・3信州大学術研究院農）

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 9月28日

A会場（とがちプラザ1F レインボーホール）				B会場（とがちプラザ1F 視聴覚室）			
時間	座長	2. 造成・管理・栽培		時間	座長	1. 草地生態・システム分析 ・緑地環境	
9:00	伊東栄作	206	2 粒播種した飼料用トウモロコシの収量に及ぼす栽植密度の影響 ○義平大樹1・今 啓人2（1酪農学園大学・2道総研畜試）	9:00	板野志郎	101	2値データによる草地植生の調査とベータ2項分布による解析 ○塩見正衛1・陳 俊2・安田泰輔3（1茨城大学・2西北農林科技大学・3山梨県富士山研究所）
9:15		207	宮崎県都城地域のツマジロクサヨトウの食害による飼料用トウモロコシの収量・飼料品質に及ぼす影響の作期別実態調査 ○石井康之・桜庭 結・塚本夏帆・新美光弘・飛佐 学・井戸田幸子（宮崎大農）	9:15		102	2値データによる植生調査のべき乗則による解析 ○塩見正衛1・陳 俊2・安田泰輔3（1茨城大学・2西北農林科技大学・3山梨県富士山研究所）
9:30	休憩			9:30		103	土壌の水ポテンシャルと植物の葉と茎の含水率との関係：近赤外光センサーを用いた植物体内水分の非破壊測定 ○西脇亜也（宮崎大農）
9:45	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用		9:45	休憩		
	菅野勉	401	北海道十勝地域における「ハヤミノルド」を用いた子実トウモロコシ利用技術の検討 ○寺戸貴裕1・黄川田智洋2（1家改セ十勝・2農研北海道）				
10:00		402	汎用型循環式乾燥機によるトウモロコシ子実の効率的な乾燥条件の検討 ○佐々木怜樹1・浅沼未歩1・佐藤健太1・村田健洋2・松山裕城1・堀口健一1・浦川修司1（1山形大農・2山本製作所）	10:00	二門世	104	無人航空機（UAV）画像による採草地のマメ科率推定—UAVから推定したマメ科被度と重量割合の関係— ○川村健介1・田中常喜2・安田泰輔3・大越証路1・花田正明1・土井和也4・三枝俊哉4・八木隆徳5・須藤賢司5・奥村健治5・林 志炫6（1帯畜大・2道総研根創・3山梨富士山研・4酪農大・5農研北海道・6農研農環研）
10:15	休憩			10:15		105	UAV-SfM推定草高を用いたペレニアルライグラスの収量推定 ○牧島美夢1・真田康治2・高原美規1・秋山征夫2（1長岡技科大院物生・2農研北海道）
10:30	寺戸貴裕	403	完熟期イアコーンの破碎率向上 ○川出哲生1・志藤博克1・小林優史2・岡嶋弘2・吉田雅規3（1農研農機・2タカキタ・3徳島農総セ畜産）	10:30		106	ペレニアルライグラスの越冬後の収量予測—機械学習モデルの比較と感度分析— ○田中常喜1・秋山雄希1・角谷芳樹2・藤井弘毅2・山田敏彦3（1道総研酪農試・2道総研畜試・3北大）
10:45		404	肥育豚における調製方法の異なるトウモロコシ子実および 飼料用米の飼料価値の評価 ○松山裕城・小林真之介・菅原叶恵・萱場成隆・相馬奈央・佐藤健太・堀口健一・浦川修司（山形大農）	10:45	107	深層学習による飼料用トウモロコシ畑のアレチウリ検出 ○渡邊 修1・加藤成剛2・加藤遼太2・叶 戒玲1（1信州大学農学部・2信州大学大学院総合理工学研究科）	

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

ポスター発表（とまちプラザ1F ギャラリー）	
コアタイム：27日11：00－12：00 奇数番号 28日11：00－12：00 偶数番号 高校生発表	
1. 草地生態・システム分析・緑地環境	
P01	ドローン空撮画像を用いた汎用的な植生分類モデルの開発 ○安田泰輔1・川村健介2・北川美弥3・八代田真人4（1山梨県富士山科学研究所・2帯広畜産大学・3農研機構畜産研究部門・4岐阜大学応用生物科学部）
P02	複数の高度によって撮影されたUAV画像による3Dモデルの歪みの抑制 ○二門 世（道総研酪農試天北）
P03	共生性ケカビ門菌類の多様性解析手法の開発 ○原田峻介・齋藤勝晴（信州大院農）
P04	植物量を利用した放牧草地の地表温度推定モデル ○板野志郎・小宮山 遼・大和田章生・内藤多笑・田中繁史（新潟大農）
2. 造成・管理・栽培	
P05	暗渠の施工深と排水管の設置が草地の生産性、土壤物理性および排水性に及ぼす影響 岡元英樹1・河端亮一2・○林 哲央1・齊藤佑貴2・阿部将大3（1道総研酪農試天北支場・2北海道宗谷総合振興局産業振興部・3現：北海道空知総合振興局北部耕地出張所）
P06	暖地における春播きイタリアンライグラスの収量 後藤慎吉1・○金子 真2・池田堅太郎1・林 征幸2・加藤直樹3・松岡 誠1（1農研九沖・2現在：農研機構本部・3現在：農林水産省）
P07	木質バイオマス発電所焼却灰のイタリアンライグラスへの施用 ○石井康之・石谷碧里・新美光弘・井戸田幸子（宮崎大農）
P08	荒廃オーチャードグラス草地にペレニアルライグラスを追播した後の利用1年目の乾物草量に及ぼす土壌PH、2番草の刈取時期および追播機械の影響 ○東山雅一（農研東北）
P09	暖地型マメ科牧草ファジービーンおよびサイラトロの生育初期における根粒およびアーバスキュラー菌根の形成 ○飛佐 学・柿田英希・井戸田幸子（宮崎大農）
P10	荒廃オーチャードグラス草地にペレニアルライグラスを追播した後の利用1年目の2番草の栄養価に及ぼす土壌pH矯正と2番草の刈取時期の影響 ○東山雅一（農研東北）
P11	南九州地域における数種暖地型マメ科牧草の生産性の検討（3） ○飛佐 学（宮崎大農）
P12	九州北部における倒伏した子実トウモロコシのフモニシン汚染 についての事例報告 ○伊東栄作（農研九沖）
P13	日射制御可能な営農型太陽光発電の牧草栽培への活用：1.可動式および固定式パネルの比較 ○鈴木伴英1・八代田真人2・森 敏彦1・合原地亮3（1中部電力・2岐阜大応生・3ガリレオ）
P14	土地面積当たりの乳生産性を指標とした寒地型牧草の最適刈取回数 ○三枝俊哉・杉本健太・千葉晴登・佐々木殉子・泉 賢一・中辻浩喜（酪農学園大）
P15	無人航空機のStructure from Motion (SfM)における地表面高さを揃えるためのco-alignment処理の有効性 ○吉村元博・秋山征夫（農研北海道）
ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。ポスターは9月28日の12:00から16:00の間に撤去してください。16:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。	

ポスター発表 (とがちプラザ1F ギャラリー)	
コアタイム：27日11：00－12：00 奇数番号 28日11：00－12：00 偶数番号 高校生発表	
3. 放牧・家畜管理・行動	
P16	空間明示モデリングを用いてヒツジの放牧パターンをシミュレートする 典型ステップの事例 ○吉原 佑1・堀江連太郎2・甲野耀登3・宮坂隆文4・篠田雅人4 (1三重大・2雪印乳業・3東京大学・4名古屋大学)
P17	視界遮断が牛の脱柵関連行動に及ぼす影響 ○花村克起1・中嶋紀寛2 (1農工大農学府・2農工大FSセ)
P18	空間明示モデルを用いてヒツジの放牧パターンをシミュレートする 砂漠ステップの事例 ○吉原 佑1・堀江連太郎2・甲野耀登3・宮坂隆文4・篠田雅人4 (1三重大・2雪印乳業・3東京大学・4名古屋大学)
P19	野草地放牧における放牧圧と放牧日数が育成羊の増体量に及ぼす影響 ○浅野桂吾1・吉原 茜2 (1石川県大・2農研)
4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	
P20	Effect of NaCl-FJLB inoculants on the fermentative quality of napiergrass silage Smerjai Bureenok1・○川本康博2・赤嶺 光3 (1Rajamangala University of Technology Isan, Thailand・2放送大学・3琉球大学)
P21	Effect of FJLB addition on fermentation quality of Leucaena and Napiergrass mixed silages ○Shikerete R. N1・Masaaki Hanada1・Toru Egi1・Naoki Fukuma1・Takehiro Nishida1・Yasuhiro Kawamoto2・Hikaru Akamine3 (1Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine・2The Open University of Japan・3University of the Ryukyus)
P22	オーチャードグラス(えさじまん)とアルファルファの混合割合および添加剤の有無がサイレージの発酵品質に及ぼす影響 ○土井和也・牧谷 侑・三枝俊哉・泉 賢一(酪農大)
P23	和歌山県の肉用牛生産で給与されているエコフィードおよびその原料の飼料成分 ○堤 道生1・山中克己2・阪口宗平3 (1農研西日本・2山中動物クリニック・3エコマネジメント)
P24	Comparison of feeding value of three sorghum varieties grown in Tokachi region Sione Mafoa Lilo Leleifi・○Masaaki Hanada・Sakaya Masaki・Toru Egi・Masahiro Akimoto (Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine)
5. 生理・形態・病理・昆虫	
P25	トウモロコシに苗立枯症状を生じる土壌微生物の多様性；岩手県での発生事例からの考察 ○菅原幸哉1・河本英憲2・篠遠善哉2・月星隆雄1 (1農研畜産・2農研東北)
ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。 ポスターは9月28日の12:00から16:00の間に撤去してください。16:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。	

ポスター発表 (とがちプラザ1F ギャラリー)	
コアタイム：27日11：00－12：00 奇数番号 28日11：00－12：00 偶数番号 高校生発表	
6. 育種	
P26	圃場条件におけるシバムギに対するチモシー競合力の品種間差異 ○足利和紀 (道総研畜試)
P27	未出穂型ソルガムと極早生ライムギの輪作体系における生産性と作付け体系の評価 ○種子朱莉・荒川陽香・竹山侑希・田中菜々・今井裕理子・春日重光 (信州大農)
P28	SNPデータを用いたチモシーの収量予測 ○飯田憲司1・山口直矢2・白澤健太3 (1道総研北見農試・2道総研中央農試・3かずさDNA研究所)
P29	未出穂型ソルガム「F60L」(仮称)の生育収量特性 ○田中菜々1・荒川陽香1・竹山侑希1・種子朱莉1・今井裕理子1・小山内光輔2・春日重光1 (1信州大農・2雪印種苗)
P30	年内草での出穂程度が高いもち病抵抗性イタリアンライグラス「九州3号」の特性 ○荒川 明・桂 真昭・高井智之・上床修弘・松岡 誠・波多野哲也・我有 満・山下浩・木村貴志 (農研九沖)
P31	ペレニアルライグラス新系統「道東3号」の特性 ○河合佑香・立脇祐哉 (日草種協北海道支所)
7. 土壌・肥料	
P32	菌根共生におけるポリリン酸を介したリン輸送 大橋実佳・Nguyen Thi Cuc・○齋藤勝晴 (信州大農)
P33	もみ殻炭の施用がトウモロコシとダイズの子実収量に及ぼす影響 森 昭憲・山田大吾・○渋谷 岳 (農研畜産)
8. 高校生発表	
P34	十勝中央部における子実トウモロコシの栽培適性の評価 ○菅原春乃1・及川紀子1・上野拓実1・栗原柚貴1・鈴木晶絵1・森生元太郎2・太田航輔2・下生将也2・今 啓人3・林 拓3・三浦颯太1 (1帯広農業高校・2ホクレン・3道総研畜試)
P35	防除作業によるトラクタの踏圧が飼料用トウモロコシの生育および収量に及ぼす影響 -踏圧条件が異なる2カ年の年次間比較- ○早坂柊人1・岩佐巧貴1・鈴木一颯1・田辺瑠道1・今 啓人2・三浦颯太1 (1帯広農業高校・2道総研畜試)
P36	エコフィードを活用した黒毛和種の肥育試験 ○中村晴香・小野由良・上澤未来・水尻陽菜・村井柚奈・小笠原衣織・阿部柑太・川村大慈・小林寧々香・下久保美優 (三本木農業恵拓高校)
P37	高オレイン酸ヒマワリ種子飼料化に向けた研究 ○小野由良・中村晴香・上澤未来・水尻陽菜・村井柚奈・小笠原衣織・阿部柑太・川村大慈・小林寧々香・下久保美優 (三本木農業恵拓高校)
P38	GIS活用による牧野法適用によるバイオマス資源確保の試み ○白戸湊愛・塚田晴斗 (岩見沢農業高校)
ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。 ポスターは9月28日の12:00から16:00の間に撤去してください。16:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。	